**２．【研究計画】**※適宜概念図を用いるなどして、わかりやすく記入してください。なお、本項目は１頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。

**(1) 研究の位置づけ**

博士後期課程において取り組む研究の位置づけについて、当該分野の状況や課題等の背景、並びに本研究計画の着想に至った経緯も含めて記入してください。

**【研究計画】（続き）**※適宜概念図を用いるなどして、わかりやすく記入してください。なお、各事項の字数制限はありませんが、全体で２頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。

**(2) 研究目的・内容等**

**（2年次以上の人は、申請時点までの実績（これまでの研究経過及び得られた結果）を記入し、今年度秋以降については計画を記入してください。）**

　① 博士後期課程で取り組む研究計画における研究目的、研究方法、研究内容について記入してください。

　② どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか（2年次以上の人は、何が、どこまで明らかになったのかも記載）、具体的に記入してください。

　③ 研究の特色・独創的な点（先行研究等との比較、本研究の完成時に予想されるインパクト、将来の見通し等）にも触れて記入してください。

　④ 研究計画が所属研究室としての研究活動の一部と位置づけられる場合は申請者が担当する部分を明らかにしてください。

　⑤ 研究計画の期間中に受入研究機関と異なる研究機関（外国の研究機関等を含む。）において研究に従事することも計画している場合は、具体的に記入してください。

**３．人権の保護及び法令等の遵守への対応** ※本項目は１頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。

　本欄には、「２.研究計画」を遂行するにあたって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など法令等に基づく手続が必要な研究が含まれている場合に、どのような対策と措置を講じるのか記入してください。例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査、国内外の文化遺産の調査等、提供を受けた試料の使用、侵襲性を伴う研究、ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組換え実験、動物実験など、研究機関内外の情報委員会や倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となりますので手続の状況も具体的に記入してください。

　なお、該当しない場合には、その旨記入してください。

**４．【研究遂行力の自己分析】**※各事項の字数制限はありませんが、全体で２頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。

　本申請書記載の研究計画を含め、当該分野における(1)「研究に関する自身の強み」及び(2)「今後研究者として更なる発展のため必要と考えている要素」のそれぞれについて、これまで携わった研究活動における経験などを踏まえ、具体的に記入してください。

*（※）本行を含め、以下の斜体で記した説明文は申請書を作成する際には消去してください。*

*・下記（１）及び（２）の記入にあたっては、例えば、研究における主体性、発想力、問題解決力、知識の幅・深さ、技量、コミュニケーション力、プレゼンテーション力などの観点から、具体的に記入してください。また、観点を項目立てするなど、適宜工夫して記入してください。*

*なお、研究中断のために生じた研究への影響について、特筆すべき点がある場合には記入してください。*

**(1)** **研究に関する自身の強み**

*（※）本行を含め、以下の斜体で記した説明文は申請書を作成する際には消去してください。*

*・記述の根拠となるこれまでの研究活動の成果物（論文、受賞等）も適宜示しながら強みを記入してください。*

*成果物（論文等）を記入する場合は、それらを同定するに十分な情報を記入してください。*

*（例）学術論文（査読の有無を明らかにしてください。査読のある場合、採録決定済のものに限ります。）*

*著者、題名、掲載誌名、巻号、pp開始頁－最終頁、発行年、インパクトファクター（ある場合のみ）・引用数（ある場合のみ）を記載してください。*

*（例) 研究発表（口頭・ポスターの別、査読の有無を明らかにしてください。）*

*著者、題名、発表した学会名、論文等の番号、場所、月・年を記載してください。（発表予定のものは除く。ただし、発表申し込みが受理されたものは記載してもよい。）*

*（例) 作品等の出展・受賞*

*展覧会や公募の概要（年月、主催、名称等）、作品等題名、それに対する第三者の評価（受賞成績、順位等）を記載してください。*

**(2)** **今後研究者として更なる発展のため必要と考えている要素**

**５．【目指す研究者像等】**※各事項の字数制限はありませんが、全体で１頁に収めてください。様式の変更・追加は不可

　京都工芸繊維大学フェローシッププログラムは、我が国の産業の技術革新・産業力強化に貢献する博士人材を育成・輩出することを目的としています。この目的に鑑み、(1)「目指す研究者像」、(2)「目指す研究者像に向けて博士後期課程在学中に行う研究活動の位置づけ」を記入してください。

**(1)目指す研究者像**

※アカデミア、研究開発企業等、どの分野における研究者を目指すか、キャリアパスを具体的に記入してください。

※目指す研究者像に向けて身に付けるべき資質も含め記入してください。

**(2)上記の「目指す研究者像」に向けて、博士後期課程在学中に行う研究活動の位置づけ**